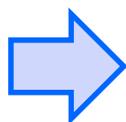




令和5年度 SAF流通WGのスケジュール（案）

○第4回（本日）

- ・CORSlA適格燃料登録・認証 実施計画
- ・S A F 利用評価 今後の進め方



○第5回（10月頃）

- ・認証登録・認証の進捗報告
- ・S A F 利用評価の実証計画



○第6回（1月頃）

- ・R5取組成果の整理
- ・R6取組計画（案）

SAF流通WGの取組内容（案）

①【継続】SAF認証タスクグループ

【概要】

- ・ ICAOにおいて、GHG削減効果のあるSAFとして認められるには「CORSlA適格燃料（CEF）」として登録・認証を得る必要があり、官民一体で国産SAFのCEF登録・認証取得に取り組む。
- ・ あわせて、国内事業者によるCEF認証取得が円滑に進むよう、得られた知見をガイドラインとして広く共有、本TGの取組で新たに得られた知見は都度反映し、内容の充実を図る。

【活動内容】

①パイロット事業者による知見獲得

- パイロット事業者を選定、個別具体の課題について認証団体より見解取得、ロジックを固め必要に応じてFTGに提案。

②知見および手続きの明確化

- 新たに得られた知見を、CEF認証取得ガイドラインへ反映。

②【新規】SAF利用評価タスクグループ（仮称）

【概要】

- ・ SAFの利用促進には、航空利用者自身がSAFによるCO2削減にどれだけ貢献したかを把握できることが重要。社会的にもScope3（事業活動に関わる間接排出）評価を求める動きがあり、ニーズが高まるものと期待。
- ・ 我が国としても、関係者で課題整理を行い環境整備を促進する必要がある。

【活動内容】

- ・ SAF利用評価の方法論・体制について検討。議論の場として、「S A F 利用評価TG」を設置（エアライン、旅客・貨物代理店、空港会社、認証機関などが参画）
- ・ 上期に方法論や実施体制を含めた実証事業計画（案）を作成、下期に制度検証のための実証事業を実施。

実施済み

計画

	課題	2022年	2023年	2024年	2025年
サプライチェーン構築	<ul style="list-style-type: none"> ● ニートSAF利用の環境整備 ✓ ニートSAF実証事業 ✓ 管理ルール整備（消防・関税等） ✓ 航空局飛行検査機へのSAF給油 	輸入SAF受入体制の整備 輸入ニートSAF実証事業 関係者協議 管理ルール整備（消防・関税）		飛行検査機の給油継続	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入過渡期を含めた国産SAFのサプライチェーン構築に向けた取組 ✓ 空港のSAF受け入れ施設・整備等の導入支援 			大規模生産前のトランジション期の国産SAF活用	空港のSAF受入施設・設備等の導入支援事業
国際標準化	<ul style="list-style-type: none"> ● CORSIA適格燃料の登録・認証 ✓ 認証TGの設置 ✓ ICAO FTGでの登録に向けた活動 ✓ CEF登録認証ガイドライン作成 	CORSIA適格燃料認証取得の支援 認証TG 新規原料・デフォルト値等の登録・認証取得支援		認証TG	
		ガイドライン作成配布		ガイドライン改訂	
導入促進	<ul style="list-style-type: none"> ● SAFの利用者の理解促進 ✓ シンポジウムの開催 ✓ PRポスター、動画制作、SNS配信等 	SAF利用の機運醸成 シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム
	<ul style="list-style-type: none"> ● 航空を利用する旅客及び貨物利用者(荷主)がScope3排出と排出量削減効果を把握できる環境整備 ✓ SAF利用評価TGの設置 ✓ 実証事業 		PRポスター・動画	PRポスター・動画	PRポスター・動画
			SAF利用評価の促進	SAF利用評価TG	
			関係者協議 ・証書発行方法検討 ・Scope3算定方法検討	関係者協議 前年度事業を踏まえ、検討	関係者協議 前年度事業を踏まえ、検討
			実証事業	実証事業	実証事業